

第 3 次川島町行政改革大綱

第 3 期行動計画

及び

進行管理表

(平成 24～26 年度)

(平成 24 年 10 月 23 日改定)

進行管理表説明

進行管理表中、**赤字**は平成 24 年度実績及び今後の方向性をもとに追加又は修正したところで、見え消しは削除したところです。

項目 12 までの**青字**は、前回の会議の結果を反映させたところです。
項目 13 以降の**青字**は、事務局が追加で記入したところです。

平成 25 年 3 月 31 日現在

(第 2 回：川島町行政改革推進委員会資料)

第3次川島町行政改革大綱第3期行動計画調書・進捗管理表

評価項目	1	事業評価の実施（目標値の導入）	担当課	全課 （取りまとめ：政策）
行動計画の内容	目標値に基づいた事業評価を実施することにより、課題の発見や目的の明確化を図り、事業の見直しや予算編成・各計画の改定等に反映させ、効率的な行政運営を図ります。			
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
取り組み内容	実施計画で主要事業に目標値設定	目標値の達成度による評価 目標値未達成事業の検証・見直し、予算への反映	目標値の達成度による評価 目標値未達成事業の検証・見直し、予算への反映	
成果指標・計画	設定した事業に対して目標値を設定 （主要事業として位置付けた事業の3割又は60事業以下を選定 平成24年度は50事業とする）	・事業の目標値に対する、達成率の評価の実施 ・主要事業として位置付けた事業の8割に対して目標値を設定	・事業の目標値に対する、達成率の評価の実施 ・目標値達成事業数の向上 ・主要事業として位置付けた事業すべてに目標値を設定	
実績	人事考課の組織目標において、各課の主要事業に目標値を設定した。 102事業 ※実施計画において主要事業での目標値の設定を予定していたが、人事考課の組織目標において、組織の方針の確認、課題の発見と整理を行い、これにより今年度の重点項目について目標設定、具体的な達成基準の整理ができているためこれを採用した。			
数値 （削減効果額など）				
今後の方向性	川島町総合振興計画や川島町行政改革大綱などの主要な事業との整合性を図り、効果的な評価を実施する。			
評価	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	

評価・・・ A：計画どおり進んでおり、効果があった
 B：概ね計画どおり進んでおり、効果が認められた
 C：計画より若干遅れているが、成果が出てきている
 D：計画より遅れている、または計画より効果が下回った
 E：計画の達成が困難、実施を見合わせる、または効果が非常に少なかった

第3次川島町行政改革大綱第3期行動計画調書・進行管理表

評価項目	2 環境負荷の低減	担当課	政策推進・町民生活・健康福祉・上下水道・教育総務・生涯学習
行動計画の内容	環境にやさしいまちづくりを推進するため、公共施設等における省エネルギーの推進や地域における家庭雑排水の水質改善により、できる限り費用をかけず環境負荷の低減に積極的に取り組みます。		
	平成24年度	平成25年度	平成26年度
取り組み内容	・公共施設における節電の実施（施設ごとに分析） ・防犯灯のLED化（H26年度までに2,400基） ・合併処理浄化槽の普及、推進	・公共施設における節電の実施（施設ごとに分析） ・防犯灯のLED化（H26年度までに2,400基） ・合併処理浄化槽の普及、推進	・公共施設における節電の実施（施設ごとに分析） ・防犯灯のLED化（H26年度までに2,400基） ・合併処理浄化槽の普及、推進
成果指標・計画	・使用電力量削減によるCO2排出量の削減（H22年度排出量対比10%削減） ・LED防犯灯への交換（1,200基） ・小型合併処理浄化槽維持管理補助制度申請件数 300件	・使用電力量削減によるCO2排出量の削減（前年度排出量対比3%削減） ・LED防犯灯への交換（600 750基） ・小型合併処理浄化槽維持管理補助制度申請件数 600 900件	・使用電力量削減によるCO2排出量の削減（前年度排出量対比3%削減） ・LED防犯灯への交換（延べ2,400 450基） ・小型合併処理浄化槽維持管理補助制度申請件数 900件
実績	・使用電力量削減によるCO2排出量の削減 H22年度排出量対比14%削減 ・LED防犯灯への交換 1,340基 ・小型合併処理浄化槽維持管理補助制度申請件数 792件		
数値 (削減効果額など)			
今後の方向性	環境負荷の低減策は、概ね計画通りに進捗しているため、引き続き使用電力の削減に努める。水質保全のための小型合併処理浄化槽維持管理補助制度の普及を図り、水質保全を図る。		
評価	Ⓐ・B・C・D・E	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E

評価・・・ A：計画どおり進んでおり、効果があった
 B：概ね計画どおり進んでおり、効果が認められた
 C：計画より若干遅れているが、成果が出てきている
 D：計画より遅れている、または計画より効果が下回った
 E：計画の達成が困難、実施を見合わせる、または効果が非常に少なかった

第3次川島町行政改革大綱第3期行動計画調書・進行管理表

評価項目	3	行政の組織・機構の見直しと定員管理の適正化	担当課	総務・政策推進
行動計画の内容	住民にとってわかりやすく、質の高い行政サービスを提供するため、より機能的な組織となるよう見直しを図ります。 また、事務事業や事務分担などを見直し、事務事業量に応じた人員を中期的な展望のもと確保し、効果的な適正配置を毎年度行います。これにより、時間外勤務の抑制を図ります。			
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
取り組み内容	組織・機構の再編に努め、職員の適正配置を行うため、ヒアリングによる課題の抽出と対応策の実施を行う	組織・機構の再編に努め、職員の適正配置を行うため、ヒアリングによる課題の抽出と対応策の実施を行う	組織・機構の再編に努め、職員の適正配置を行うため、ヒアリングによる課題の抽出と対応策の実施を行う	
成果指標・計画	- 各課の問題点・課題を整理 - 定員管理計画の策定	- 各課の問題点・課題を整理 - 定員管理計画の策定・実行	各課の問題点・課題を整理	
実績	- 各課とのヒアリングを行い、問題点・課題を整理した結果、課の人数が多くなりすぎた弊害を改善するために、また新規事業に対応するために、定員は維持した状態で1課新設し、また事務事業を整理をした。 - 定員管理計画（案）の作成を行ったが、実施までには至らなかった。			
数値 (削減効果額など)				
今後の方向性	新庁舎において、より効率的に住民サービスが提供できるような組織・機構の再編について研究を行う。 新庁舎建設に伴い効率的な組織・機構の再編の研究を行うとともに、定員管理計画を早期に策定する。			
評価	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	

評価・・・ A：計画どおり進んでおり、効果があつた
 B：概ね計画どおり進んでおり、効果が認められた
 C：計画より若干遅れているが、成果が出てきている
 D：計画より遅れている、または計画より効果が下回った
 E：計画の達成が困難、実施を見合わせる、または効果が非常に少なかった

第3次川島町行政改革大綱第3期行動計画調書・進行管理表

評価項目	4	審議会等附属機関の見直し	担当課	全課 (取りまとめ：政策)
行動計画の内容	審議会等附属機関の定数や職の重複、運営方法などを見直して、広範な人材活用と組織の整理・統合及び審議内容の外部への公表を図ります。			
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
取り組み内容	・調査・課題整理をし、審議会等附属機関のあり方の基本指針の作成 ・例規の整備（審議会等附属機関の会議の公開について、審議会等附属機関委員の公募の規定について）	見直し（審議会等附属機関の設置条例等見直し）	見直し	
成果指標・計画	・審議会等附属機関のあり方の基本指針作成 ・H24年度委嘱する審議会において、審議会等附属機関委員の公募制の導入（3審議会） ・H24年度委嘱する審議会等附属機関において、女性委員の登用30%以上の達成率30%以上	・審議会等附属機関のあり方の基本指針の策定 ・H25年度委嘱する審議会等附属機関委員の公募制の導入（3審議会） ・H25年度委嘱する審議会等附属機関委員において、女性委員の登用30%以上の達成率50%以上	・H26年度委嘱する審議会等附属機関委員の公募制の導入（3審議会） ・H26年度委嘱する審議会等附属機関委員において、女性委員の登用30%以上の達成率80%以上	
実績	・審議会等附属機関のあり方の基本指針（案）は、作成したが実施までは至らなかった。 ・審議会等附属機関委員の公募制の導入 4審議会等 ・審議会等附属機関委員の女性委員の登用 達成率50.0%			
数値 (削減効果額など)				
今後の方向性	・審議会等附属機関のあり方の基本指針を平成25年度早期に策定する。 ・審議会の公開については、川島町審議会等の会議の公開に関する要綱を制定したので、公募の規定について例規の整備を促す。			
評価	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	

評価・・・ A：計画どおり進んでおり、効果があった
 B：概ね計画どおり進んでおり、効果が認められた
 C：計画より若干遅れているが、成果が出てきている
 D：計画より遅れている、または計画より効果が下回った
 E：計画の達成が困難、実施を見合わせる、または効果が非常に少なかった

第3次川島町行政改革大綱第3期行動計画調書・進行管理表

評価項目	5	幼稚園・保育園運営の見直し	担当課	教育総務・健康福祉 (子育て支援)
行動計画の内容	少子化や育児ニーズの多様化に対応し、より充実した子育てサービスを提供するため子育て支援の充実を図ります。			
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
取り組み内容	幼稚園・保育園のあり方の検討	検討結果による計画の推進 ・子ども・子育て支援事業 計画策定に向けた検討	検討結果による計画の推進 ・子ども・子育て支援事業 計画策定	
成果指標・計画	調査・研究結果の報告	作業スケジュールの検討及び報告 ・子育てニーズアンケート 調査の実施及び分析 ・子ども・子育て会議の設置	作業スケジュールの検討及び報告 ・子ども・子育て支援事業 計画策定	
実績	幼稚園・保育園の見直し担当者会議により「行政改革大綱に基づく幼稚園・保育園の見直しの検討について」をとりまとめ、平成27年度末に川島幼稚園を廃止することに決定した。			
数値 (削減効果額など)				
今後の方向性	平成27年度末の川島幼稚園の廃止に向けての準備を進める。 また、平成27年度に始まる子ども・子育て支援新制度の本格施行の準備を進め、川島町住民のニーズに基づき子育て支援について策定する「子ども・子育て支援事業計画」の準備を行う。			
評価	(A)・B・C・D・E	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	

評価・・・ A：計画どおり進んでおり、効果があった
 B：概ね計画どおり進んでおり、効果が認められた
 C：計画より若干遅れているが、成果が出てきている
 D：計画より遅れている、または計画より効果が下回った
 E：計画の達成が困難、実施を見合わせる、または効果が非常に少なかった

第3次川島町行政改革大綱第3期行動計画調書・進行管理表

評価項目	6 人事管理制度の充実	担当課	総務
行動計画の内容	分権型社会の担い手にふさわしい人材を育成することが重要であることから、人材育成に関する基本方針を推進し、人事管理にも反映させるとともに、職員の能力、適性などに応じた人事異動を行います。		
	平成24年度	平成25年度	平成26年度
取り組み内容	・人材育成基本方針の推進 ・人事考課の実施（規程、要綱等の整備及び人事管理・異動への反映）	・人材育成基本方針の推進 ・人事考課の実施（人事管理・異動への反映）	・人材育成基本方針の推進 ・人事考課の実施（人事管理・異動への反映）
成果指標・計画	人事考課制度実施要綱の整備策定	・人材育成基本方針の推進 ・人事考課制度の実施（人事管理・異動への反映） ・人事考課制度実施要綱（規程）の策定 ・課長職への勤勉手当に反映 人事異動・給与への反映	人事異動・給与への反映
実績	人事異動については、人事考課制度に基づき、職員の能力、適性などに応じたものを実施した。しかし、人事考課制度マニュアルでの運用に留まり、実施要綱が未策定だった。		
数値 （削減効果額など）			
今後の方向性	平成24年度から人事考課制度を本格実施。職員の徹底制度の習熟度をさらに高める。また、主査職以下の職員についても個人目標の設定を検討する。平成25年度に、課長職への勤勉手当に反映させることを規定する川島町人事考課制度実施要綱（規程）を制定する。		
評価	A・B・C・ D ・E	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E

評価・・・ A：計画どおり進んでおり、効果があった
 B：概ね計画どおり進んでおり、効果が認められた
 C：計画より若干遅れているが、成果が出てきている
 D：計画より遅れている、または計画より効果が下回った
 E：計画の達成が困難、実施を見合わせる、または効果が非常に少なかった

第3次川島町行政改革大綱第3期行動計画調書・進行管理表

評価項目	7 職員の能力向上・意識改革	担当課	総務
行動計画の内容	厳しい社会経済状況に対応し、住民目線で行政改革を推進できる職員を育成し、地域経営感覚を養うために、意識改革などを目指した研修を積極的に行います。		
	平成24年度	平成25年度	平成26年度
取り組み内容	職員研修計画に基づいた研修の実施	職員研修計画に基づいた研修の実施	研修基本計画に基づいた研修の実施
成果指標・計画	階層別基本研修への対象者参加率（100%）	・階層別基本研修への対象者参加率（100%） ・研修基本計画方針の策定 ・OJT単独研修を6回以上実施	前年度実績により、成果指標を設定する
実績	・階層別基本研修への参加対象者参加率100% - 参加対象者：90人		
数値 (削減効果額など)			
今後の方向性	OJT研修（意識改革－人事考課、接遇研修など）が不足しているため、平成25年度はこれらの町単独研修を充実させる。		
評価	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E

評価・・・ A：計画どおり進んでおり、効果があった
 B：概ね計画どおり進んでおり、効果が認められた
 C：計画より若干遅れているが、成果が出てきている
 D：計画より遅れている、または計画より効果が下回った
 E：計画の達成が困難、実施を見合わせる、または効果が非常に少なかった

第3次川島町行政改革大綱第3期行動計画調書・進行管理表

評価項目	8 職員提案制度の活用	担当課	政策推進
行動計画の内容	職員一人一人が、知識や経験、創意が活かされた提案をすることで、住民サービス向上や事務改善、職場の活性化を図ります。		
	平成24年度	平成25年度	平成26年度
取り組み内容	簡単に提案できるような様式の見直し	職員提案制度の実施	職員提案制度の実施
成果指標・計画	- 様式の見直し - 職員提案数の向上 60件	<u>・職員提案制度の見直し</u> - 職員提案数の向上 120件 <u>・定期的にテーマを設けて提案制度を普及させる</u>	- 職員提案数の向上 180件 - 採用件数の向上 前年度実績により、成果指標を設定する
実績	- 様式の素案は作成したが、実施決定までは至らなかった。 - 職員提案数 46件 新庁舎建設に伴う職員提案 394件		
数値 (削減効果額など)			
今後の方向性	様式の見直しを行う中、制度の実施方法について、見直しを行うことになった。より、スピーディに決裁ができるように検討したので平成25年度に手続きの変更をする。		
評価	A・B・ C ・D・E	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E

評価・・・ A：計画どおり進んでおり、効果があった
 B：概ね計画どおり進んでおり、効果が認められた
 C：計画より若干遅れているが、成果が出てきている
 D：計画より遅れている、または計画より効果が下回った
 E：計画の達成が困難、実施を見合わせる、または効果が非常に少なかった

第3次川島町行政改革大綱第3期行動計画調書・進行管理表

評価項目	9	町税等の収納率向上	担当課	税務・健康福祉
行動計画の内容	町財政や特別会計財政（国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険）の基盤を強化するため、より一層の口座振替を推奨しながら、現在のライフスタイルに合った納税環境を整え、町税等の収納率向上を図ります。			
		平成24年度	平成25年度	平成26年度
取り組み内容		徴収体制の整備（口座振替啓発、コンビニ収納の充実）・強化（管理体制・組織等の検討）	徴収体制の強化	徴収体制の強化
成果指標・計画	※平成19～22年度の平均値とする	町税（住民、法人、固定、軽自） 98.3%	町税（住民、法人、固定、軽自） 98.4%	町税（住民、法人、固定、軽自） 98.5%
		国保税 91.6%	国保税 91.7%	国保税 91.8%
		介護保険料 98.6%	介護保険料 98.7%	介護保険料 98.8%
		後期高齢者医療保険料 99.7%	後期高齢者医療保険料 99.7%	後期高齢者医療保険料 99.7%
実績		【参考値】3月末現在収納率 ・町税 96.03% ・国保税 91.02% ・介護保険料 98.29% ・後期高齢者医療保険料 99.31%		
数値 (削減効果額など)				
今後の方向性		今後も効果的な催告書の送付、納税環境の整備等（平成24年度より町税のコンビニ納付導入）、効果的な滞納整理を継続して行う。また各担当課とも連携し情報を共有しさらなる収納率向上を目指す。		
評価		A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E

評価・・・ A：計画どおり進んでおり、効果があった
 B：概ね計画どおり進んでおり、効果が認められた
 C：計画より若干遅れているが、成果が出てきている
 D：計画より遅れている、または計画より効果が下回った
 E：計画の達成が困難、実施を見合わせる、または効果が非常に少なかった

第3次川島町行政改革大綱第3期行動計画調書・進行管理表

評価項目	10	補助金・負担金等の見直し	担当課	政策推進課
行動計画の内容	各種補助金・負担金等について、交付目的や事業効果の検証を進めるとともに引き続き適正化を行います。			
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
取り組み内容	補助金・負担金等の見直し	補助金・負担金等の見直し	補助金・負担金等の見直し	
成果指標・計画	補助金交付基準（チェックシート）により、補助金等の交付決定時に補助金交付の妥当性の確認	・補助金等検討委員会の実施 ・補助金等検討委員会の方針を受けて、成果指標を設定する ・補助金交付基準により、補助金等の交付決定時に確認 ・H22の見直し以降の成果を検証、団体への運営費補助について重点精査	・前年度の補助金等検討委員会の方針を受けて、成果指標を設定する ・補助金交付基準により、補助金等の交付決定時に確認 ・H25の精査対象補助についてフォローアップ	
実績	交付基準等を改めて各課に通知し、適正な執行を依頼し、団体への運営費補助については、政策推進課への合議を要求し、補助金交付基準により補助金交付の妥当性の確認を実施した。			
数値 (削減効果額など)				
今後の方向性	各課における取組の検証及び課題の整理が必要。特に団体等への運営費補助については改めて検証する必要がある。			
評価	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	

評価・・・ A：計画どおり進んでおり、効果があった
 B：概ね計画どおり進んでおり、効果が認められた
 C：計画より若干遅れているが、成果が出てきている
 D：計画より遅れている、または計画より効果が下回った
 E：計画の達成が困難、実施を見合わせる、または効果が非常に少なかった

第3次川島町行政改革大綱第3期行動計画調書・進行管理表

評価項目	11 公共施設の外部委託（給食センター）	担当課	教育総務
行動計画の内容	コストの削減、職員の適正化、施設の管理運営等に資するため、費用対効果やスケールメリットを十分に検討して、公共施設（給食センター）の外部委託を推進します。		
	平成24年度	平成25年度	平成26年度
取り組み内容	給食センター業務の外部委託の推進	給食センター業務の外部委託の推進	給食センター業務の外部委託の推進
成果指標・計画	調理員（臨時職員）の外部委託の実施	ボイラー運転業務の外部委託の実施	給食配送業務の外部委託の実施
実績	平成24年4月より調理・洗浄部門の一部（臨時職員）を外部委託した。		
数値 （削減効果額など）			
今後の方向性	引き続き、計画どおり進める。		
評価	Ⓐ・B・C・D・E	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E

評価・・・ A：計画どおり進んでおり、効果があった
 B：概ね計画どおり進んでおり、効果が認められた
 C：計画より若干遅れているが、成果が出てきている
 D：計画より遅れている、または計画より効果が下回った
 E：計画の達成が困難、実施を見合わせる、または効果が非常に少なかった

第3次川島町行政改革大綱第3期行動計画調書・進行管理表

評価項目	12 町民・企業と連携した公共サービスの充実（図書館）	担当課	生涯学習
行動計画の内容	町民ニーズに迅速かつ柔軟に対応し、サービスに反映できるよう、町民・企業と連携した公共サービスの充実を推進します。		
	平成24年度	平成25年度	平成26年度
取り組み内容	町民・企業と連携方策の検討と新規事業の試行的実施（図書館サービスの充実）	町民・企業との連携方策の検討結果による計画の推進	町民・企業との連携方策の検討結果による計画の推進
成果指標・計画	・町民・企業との連携方策の調査・研究結果の報告 ・図書貸出冊数の向上（H23年度対比3%の向上） ・図書館利用者数の把握と分析 ・利用者アンケートの実施	・町民・企業との連携方策の作業スケジュールの検討及び報告 図書館のあり方研究会の設置 ・図書貸出冊数の向上（前年度実績により、目標値を設定する） ・図書館利用者数の向上（入館者数 平成24年度比2%向上） ・利用者の満足度の向上調査	・町民・企業との連携方策の作業スケジュールの検討及び報告 図書館のあり方研究会の報告に基づき方針を決定する ・図書貸出冊数の向上（前年度実績により、目標値を設定する） ・図書館利用者数の向上（入館者数 平成25年度比2%向上） ・利用者の満足度の向上（前年度実績により、目標値を設定する）
実績	・図書館職員により図書館のあり方について検討し、『川島町立図書館の目指すサービス（案）』を作成した。 - 図書館の将来のあり方を方向付けるため、図書館のあり方研究会の設置要綱を作成した。 ・図書貸出冊数 114,626冊 前年度対比1%の向上 ・入館者数 29,787人 来館者のデータの把握を行った。 ・利用者アンケートを実施し、147人の方から回答を得た。		
数値 （削減効果額など）			
今後の方向性	『川島町立図書館の目指すサービス（案）』を検討する為、学識経験者などによる「図書館のあり方研究会」を立ち上げることにした。		
評価	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E

評価・・・ A：計画どおり進んでおり、効果があった
 B：概ね計画どおり進んでおり、効果が認められた
 C：計画より若干遅れているが、成果が出てきている
 D：計画より遅れている、または計画より効果が下回った
 E：計画の達成が困難、実施を見合わせる、または効果が非常に少なかった

第3次川島町行政改革大綱第3期行動計画調書・進行管理表

評価項目	13 電子自治体の推進	担当課	政策推進
行動計画の内容	ICTや広域行政組織のクラウド方式の活用により、事務の効率化・スピード化を図るとともに、電子入札共同システムなどを活用し、利便性の向上を図ります。電子自治体の推進において重要な課題である個人情報の保護と情報セキュリティ対策を推進します。 また、庁内LANの有効活用による、職員の情報共有化を図り、ペーパーレス化を推進します。		
	平成24年度	平成25年度	平成26年度
取り組み内容	・ICT（特に電子入札）の活用 ・クラウド方式に向けた調整 ・ペーパーレス化の推進	・ICT（特に電子入札）の活用 ・クラウド方式に向けた調整 ・ペーパーレス化の推進	・ICT（特に電子入札）の活用 ・クラウド方式に向けた調整 ・ペーパーレス化の推進
成果指標・計画	・電子入札の試行開始 ・コピー用紙購入枚数2,062,500枚（H23実績）以下 ・クラウドシステムの検討結果の報告 ・PC利用率調査の実施	・利用者への電子入札の説明会の実施及び試行実施 ・コピー用紙購入枚数（平成23年度購入枚数2,062,500枚以下） ・クラウドシステム方式のスケジュールの確立 ・PC利用率調査の実施	前年度実績により、成果指標を設定する。
実績	・電子入札の導入にかかる、インターネット環境が適合しなかったため試行できなかった。 ・コピー紙購入枚数2,137,500枚 ・クラウドシステムの検討結果3月報告 ・PC利用率調査を3月実施	PC利用率調査:3月時のパソコンの稼働率を調査し、各課1人あたり稼働率の平均を出した。初めての調査であるため来年度も実施し、比較検討を行う。	
数値 (削減効果額など)			
今後の方向性	電子入札については、平成25年度、早期に環境設定を行い、業者説明会を経て試行を行う。 コピー用紙の各課の使用状況を確認し増加の原因を調査し、削減に努める。		
評価	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E

評価・・・ A：計画どおり進んでおり、効果があつた
 B：概ね計画どおり進んでおり、効果が認められた
 C：計画より若干遅れているが、成果が出てきている
 D：計画より遅れている、または計画より効果が下回った
 E：計画の達成が困難、実施を見合わせる、または効果が非常に少なかった

第3次川島町行政改革大綱第3期行動計画調書・進行管理表

評価項目	14 窓口サービスの向上	担当課	全課 (取りまとめ：政策)
行動計画の内容	窓口を利用される方のニーズに迅速かつ適切に対応し、皆様に満足していただける窓口としていくため、サービス体制の見直し等を検討していきます（利用案内やマナーマニュアル作成、お客様アンケートの実施）。		
	平成24年度	平成25年度	平成26年度
取り組み内容	・利用案内とマナーマニュアルの作成 ・窓口アンケートの実施、受付等のサービスの見直し	・窓口アンケートの実施 ・サービスの見直し	・窓口アンケートの実施 ・サービスの見直し
成果指標・計画	来庁者満足度の向上（80点以上の満足度）	・来庁者満足度の向上 (前年度実績により、目標値を設定する) (85点以上の満足度) ・印鑑登録カードから町民カードへの切り替えを全件終了させる	- 来庁者満足度の向上 (前年度実績により、成果指標を設定する) ・新庁舎建設に向けた、サービス内容の検討
実績	窓口アンケートの実施（1月～2月） 満足度 79.5点	アンケート結果から読み取れる不満の内容とその対応は？ 用件が済むまでの時間、職員の言葉使い、職員の説明、施設面については、よかった(早かった)とふつうのみであった。 意見:手続きの仕方や申請書の書き方についてわかりにくかった。 改善のための提案:記載例を載せる。	
数値 (削減効果額など)			
今後の方向性	サービス向上のため、接遇研修を利用し資質向上につとめる。また、他自治体の先進的なサービスについても検討し、導入を進めたい。 自動交付機で住民票の写しなどを取得できる、町民カードの切り替えを促進し、窓口サービスを向上させる。		
評価	A・ (B) ・C・D・E	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E

評価・・・ A：計画どおり進んでおり、効果があった
 B：概ね計画どおり進んでおり、効果が認められた
 C：計画より若干遅れているが、成果が出てきている
 D：計画より遅れている、または計画より効果が下回った
 E：計画の達成が困難、実施を見合わせる、または効果が非常に少なかった

第3次川島町行政改革大綱第3期行動計画調書・進行管理表

評価項目	15 情報公開の推進	担当課	全課 (取りまとめ：政策)
行動計画の内容	情報公開を推進するため、広聴・広報機能を充実させるとともに、まちの情報を共有できる環境づくりを進めます。 また、外国人、高齢者及び障がいのある方などにも対応した情報提供を行います。		
	平成24年度	平成25年度	平成26年度
取り組み内容	・情報公開の推進（HP・広報紙・ツイッター等の充実） ・障がい者、外国人にも配慮した情報の提供 ・パブリックコメントの活用	・情報公開の推進（HP・広報紙・ツイッター等の充実） ・障がい者、外国人にも配慮した情報の提供 ・パブリックコメントの活用	・情報公開の推進（HP・広報紙・ツイッター等の充実） ・障がい者、外国人にも配慮した情報の提供 ・パブリックコメントの活用
成果指標・計画	HP年間アクセス数100,000件以上	・HP年間アクセス数アクセス数105,000件以上 ・ツイッター ツイート数450件以上 ・かわべえメール 登録者数 1000人以上 ・ホームページの色覚バリアフリーの実施 ・町民コメント制度実施要綱に定められた対象となる施策などのパブリックコメント実施率100%	HP年間アクセス数アクセス数110,000件以上 ・ツイッター（前年度実績をもとに目標値を設定） ・かわべえメール（前年度実績をもとに目標値を設定） ・町民コメント制度実施要綱に定められた対象となる施策などのパブリックコメント実施率100%
実績	HP年間アクセス数100,086件		
数値 (削減効果額など)			
今後の方向性	町の情報を迅速に正確に、伝えられるように、ホームページやツイッター、かわべえメールの充実を図る。		
評価	Ⓐ・B・C・D・E	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E

評価・・・ A：計画どおり進んでおり、効果があった
 B：概ね計画どおり進んでおり、効果が認められた
 C：計画より若干遅れているが、成果が出てきている
 D：計画より遅れている、または計画より効果が下回った
 E：計画の達成が困難、実施を見合わせる、または効果が非常に少なかった

第3次川島町行政改革大綱第3期行動計画調書・進行管理表

評価項目	16 町民と協働によるまちづくり	担当課	健康福祉・農政産業・総務・政策推進
行動計画の内容	協働のまちづくりを推進するため、町民のアイデアや意見を募り、町政に反映させる機会（広聴箱やまちづくり懇談会など）の充実を図ります。 また、お年寄り、妊婦及び障がいのある方など、助けを必要としている人を地域で支え合う共助を育むため、地域団体や社協、商工会などと連携しながら、ボランティアによる地域支え合いのまちづくりを推進します。		
	平成24年度	平成25年度	平成26年度
取り組み内容	・地域支え合いの仕組みの構築・実施 ・町民提案制度の普及推進	・地域支え合いの実施 ・町民提案制度の普及推進	・地域支え合いの実施・検討 ・町民提案制度の普及推進
成果指標・計画	・かわじま安心お助け隊（地域支え合い事業）の開始 ・町民提案制度の普及推進	登録ボランティア数の向上—(H24年度登録者数10%向上)— サポーター会員数30人 ・広聴事業の普及促進 - 広聴総数 - 町長への提言（広聴箱、郵便、ファクス、電子メールなど） 100件以上 ・まちづくり懇談会の実施	前年度実績により、成果指標を設定する
実績	・かわじま安心お助け隊を平成24年9月1日より開始した - サポーター会員数21名 - 利用会員数70名 ・広聴事業の実施 - 町長への提言 80件（広聴箱15件、郵送4件、ホームページ電子メール61件） ・まちづくり懇談会参加者217人 ・広報紙に広聴用ハガキの折り込みを開始		
数値 (削減効果額など)			
今後の方向性	かわじま安心お助け隊は、利用者の拡大を図るため、制度のPRを引き続き行っていく。現状では、利用会員に対しサポーター会員が不足しているため、安定して事業が運営できるよう、まずはサポーター会員の増加を目指す。		
評価	○ A・B・C・D・E	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E

評価・・・ A：計画どおり進んでおり、効果があった
 B：概ね計画どおり進んでおり、効果が認められた
 C：計画より若干遅れているが、成果が出てきている
 D：計画より遅れている、または計画より効果が下回った
 E：計画の達成が困難、実施を見合わせる、または効果が非常に少なかった

第3次川島町行政改革大綱第3期行動計画調書・進行管理表

評価項目	17 地域団体による活動の推進	担当課	総務
行動計画の内容	町民主体のまちづくりが行われる環境を目指し、コミュニティ意識の高揚や東日本大震災の教訓を活かしながら、地域の自治会や団体等の自主的な活動を支援します。		
	平成24年度	平成25年度	平成26年度
取り組み内容	防災活動など自発的・自主的な地域による活動を推進（コミ協の充実等）	地域活動の推進	地域活動の推進
成果指標・計画	・ 自主防災組織の育成推進 ・ 自主防災組織結成10団体	・ 自主防災組織の結成推進 自主防災組織結成（延べ40団体又は自治会数の1/2） 自主防災組織結成 30団体	・ 自主防災組織の結成推進 自主防災組織結成（町内全域）
実績	各地区で自主防災組織結成に向けての説明会を実施し、自主防災組織が24団体結成した。		
数値 （削減効果額など）			
今後の方向性	自警団への補助（自警消防運営費委託料）と自主防災会への重複補助の解消を図り、自発的な自主防災活動事業に対する補助に切り替えていく。		
評価	(A)・B・C・D・E	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E

評価・・・ A：計画どおり進んでおり、効果があった
 B：概ね計画どおり進んでおり、効果が認められた
 C：計画より若干遅れているが、成果が出てきている
 D：計画より遅れている、または計画より効果が下回った
 E：計画の達成が困難、実施を見合わせる、または効果が非常に少なかった